

科目名	<b>数的推理 I</b>	科目分類	<input type="checkbox"/> 専門科目群（第1グループ）		
			<input checked="" type="checkbox"/> 総合科目群（第2グループ）		
			<input type="checkbox"/> 全学科 <input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 学科 <input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択		
英文表記	<b>Mathematical Processing Skills I</b>	開講年次	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input checked="" type="checkbox"/> 2年 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 <input checked="" type="checkbox"/> 4年		
ふりがな	むらなか たかし	開講期間	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中		
担当者名	村中 孝司	修得単位	2単位		
授業のテーマ	公務員採用試験の教養科目のうち、最も出題数の多い数的推理を取り組む。				
到達目標	数的推理マスター				
授業概要	公務員試験教養科目「数的推理」の基本を理解し、演習問題を解く。				
授業計画					
第1回	ガイダンス				
第2回	方程式①	文字式、等式、1次方程式、2次方程式の基本			
第3回	方程式②	方程式の文章問題			
第4回	不等式①	不等号、不等式の基本、連立不等式			
第5回	不等式②	不等式の文章問題			
第6回	方程式、不等式の実践問題				
第7回	整数①	自然数、倍数、約数、素数			
第8回	整数②	剰余類			
第9回	整数③	整数に関する応用問題①			
第10回	整数④	整数に関する応用問題②			
第11回	整数⑤	虫食い算、覆面算、魔方陣			
第12回	整数⑥	虫食い算、覆面算、魔方陣に関する応用問題			
第13回	整数⑦	記数法			
第14回	整数⑧	記数法に関する応用問題			
第15回	整数の実践問題				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	小学校算数、中学校数学、高等学校数学Ⅰ・Aを理解しておくこと。 予習1時間半、復習1時間半程度必要。				
履修条件 受講のルール	公務員（大学卒程度）を目指す学生。基礎数学Ⅰ・Ⅱを併せて履修することが望ましい。 高等学校数学Ⅰ・Aを理解していることを前提に授業を進める。 遅刻厳禁、厳しく対処する。 教科書を必ず購入してください。また、適宜資料を配布しますが、欠席した学生には配布しません。				
テキスト	田辺勉『上・中級公務員 標準数的推理』実務教育出版				
参考文献・資料	講義中に紹介する。				
成績評価の方 法	試験(80%)、レポート・課題提出・小テスト(20%) 上記評価項目を基にして総合的に判断します。 ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は、欠席扱いします。				

	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。</li> <li>授業の理解、および予習復習が充分であるかを確認するため、授業中に小テストを行います。</li> <li>レポート課題は授業内又は掲示板で指示します。</li> </ul>
オフィスアワー	火曜 14:40～16:10、水曜 14:40～16:10
成績評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 28 年度以降入学者 秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)</li> <li>平成 27 年度以前入学者 優(100～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)</li> </ul>
学生へのメッセージ	テキストの購入は必須。持参しない学生の受講は認めません。